

2023年9月7日

ロイヤルカナン ジャパン

**ロイヤルカナン ジャパン主催「ベテリナリーシンポジウム 2023」に  
2,500名を超える獣医療関係者が参加  
講演やオンラインコンテンツによる知識の提供を通じ、獣医療業界のサステナブルな発展を支援**

栄養学に基づいて犬と猫の健康を実現する企業(Health Through Nutrition Company)として、プレミアムペットフードおよび食事療法食を展開するロイヤルカナン ジャパン(本社:東京都港区、社長:山本 俊之)は、獣医療関係者を対象としたシンポジウム「ベテリナリーシンポジウム 2023」を、7月30日(日)に The Okura Tokyo(東京都港区)、8月6日(日)にヒルトン大阪(大阪府大阪市)で開催しました。東京会場の模様は、特設オンラインサイトにて LIVE 配信されました。



ベテリナリーシンポジウムは、ロイヤルカナンが獣医療業界のサステナブルな発展支援を目的に、全国の獣医療関係者を対象に毎年開催しているシンポジウムです。第25回目の開催となった今回は、**ロジックで攻める「消化器疾患クリニカルアップデート」**をテーマに、講師としてお迎えした獣医療のエキスパート4名の獣医師による講演が行われました。東京と大阪の2つの会場に合わせて312名が来場し、オンラインでの聴講者も合わせると合計で2,500名を超える獣医療関係者が「ベテリナリーシンポジウム 2023」に参加しました。

**<各講演ハイライト>**

**石田卓夫先生(赤坂動物病院医療ディレクター)「子犬と子猫の下痢症」**

子犬、子猫の下痢に関する症状や原因、診断アプローチや治療法などの基本を解説し、特に子犬、子猫は下痢に伴い低血糖、脱水や栄養不良、体重減少が起こりやすいため、対症療法や食事管理に加え、正しい原因治療が重要だと紹介しました。その上で子犬、子猫の下痢症状には様々な疾患が関係しているため、それらを鑑別しながら必要な治療を行い、生命維持に努めることが大事だと結びました。

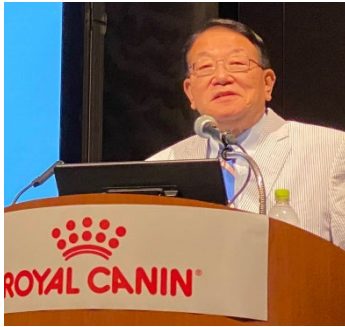
**大森啓太郎先生(東京農工大学大学院 動物生命科学部門)「腸内環境を標的とした消化器疾患の管理」**

注目が高まっている腸内細菌叢の異常「ディスバイオーシス」をはじめとする腸内環境と、犬と猫の消化器疾患との密接な関連を背景に、腸内環境を標的とした治療法について、プレプロバイオティクスの投与、食事療法、糞移植療法(FMT)などの具体例を交えながら紹介しました。また食事療法の効果については、主に食物繊維、プレバイオティクスが腸内細菌叢に影響することや、一方で短期～長期的な投与の効果は疾患や個体によって異なり、世界的に研究の途中でもあるため、今後さらにデータの集積を待つ必要があると解説しました。

**中島亘先生(公益財団法人 日本小動物医療センター附属 小動物消化器センター)「どうする?腸疾患に対する食事療法などの治療選択」**

症例数が多く、獣医師にとって診療する機会が多い犬の慢性腸症の基本に加え、初期治療が奏効しなかった場合の次の検査や治療の選択肢、2次診療施設へ紹介する見極めポイントやタイミングについて解説しました。実際の症例も多数交え、それらに対する中島先生の考えや対処も紹介し、臨床の現場で明日にでも役立つ講演になりました。

先生方の講演後に行われた質疑応答では会場から多くの質問が挙がり、消化器疾患や各講演内容に対する参加者の理解をより深めていただく有意義な時間となりました。



また特設オンラインサイトでは7月10日(月)から8月31日(木)まで、今回の講演のアーカイブ動画のほか、消化器疾患と腸内細菌叢の関連、消化器疾患に対する体系的な診断アプローチに関する情報が満載の学習動画も公開し、講演内容の理解を深めていただくための予習・復習に活用いただきました。その他にもeラーニングやQUIZムービー、フランス本社におけるロイヤルカナンのフードの製造工程を紹介するバーチャルキャンパスツアーなど獣医療に役立つ知識や情報の提供に加え、愛玩動物看護師の方向けに栄養学からマネジメントまで動物看護力を高め長く働いていただくためのレクチャー動画も公開するなど、幅広い業務をサポートすべく各種プログラムを提供しました。

ロイヤルカナンのパーパス(存在意義)は、個々の栄養ニーズをきめ細やかに満たすことで、一頭一頭の犬と猫に、目に見える・実感できる“真の健康”を提供し、A BETTER WORLD FOR PETS™(ペットのためのより良い世界)をつくることです。このパーパス実現に向けた活動の一環として、獣医療関係者を対象とした本ペテリナリーシンポジウム開催のほか、獣医学生のキャリア形成を支援する「キャリアユニバーシティ」の実施や、若手獣医師の生涯教育サポートを行う「Royal Canin Academy」の開講など包括的な取り組みを展開しています。これからも日本の獣医療のサステナブルな発展と未来に寄与して参ります。

## ロイヤルカナン社について

ロイヤルカナン ブランド(ROYAL CANIN®)を展開するロイヤルカナン社は、栄養学に基づいた犬と猫の健康において世界を牽引する企業であり、マース インコーポレイテッドの一員です。1968年にフランスの獣医師ジャン カタリー博士によって設立されたロイヤルカナンは、ペットの専門家との連携を通じて「ペットのためのより良い世界」というパーパス(存在意義)の実現を目指し、栄養と知識の限界を継続的に押し広げています。

ロイヤルカナンは、ブリーダーや獣医師などのパートナーと協力し、科学に基づいて個々の犬と猫のニーズにきめ細やかに応える栄養バランスのフードをつくるだけでなく、ペットの健康に非常にプラスな影響を与える様々なツールやサービスを展開しています。ペット、人間、地球を尊重し、責任ある持続可能な方法でビジネスを実践しています。

世界120以上の市場で事業を展開し、500名の獣医師と栄養士を含む8,500名を超えるアソシエイト(従業員)が活躍しています。16の工場と2つのペットセンター、そしてマースのネットワークから1つのイノベーションセンターと7つの研究所を運営しています。また、日本をはじめヨーロッパ以外では、ユーカヌバ ブランド(EUKANUBA™)を展開しています。ユーカヌバは愛犬の健康とアクティブな毎日をサポートするドッグフードブランドです。そして米国を拠点とする消費者直販のペットフード会社として急成長を遂げているNOM NOMの事業展開も行っています。

ロイヤルカナンに関する詳細: <https://www.royalcanin.com/jp/>

ユーカヌバに関する詳細: <https://www.eukanuba.com/jp/>

ロイヤルカナン ジャパン企業サイト: <https://royalcanin.jp/>